

要望・提案に対する長崎県からの回答要旨

項 目	1. 構想路線「島原天草長島連絡道路（深江町～口ノ津港）」の早期事業化について
<p>(要望概要) 構想路線「島原天草長島連絡道路（深江町～口ノ津港）」の早期事業化について要望したもの。</p> <p>(回 答) ○島原天草長島連絡道路は、南島原市の観光や産業の振興を図るうえで非常に重要だと認識している。 ○島原半島地域の幹線道路網に関する検討会を今年度も開催し、地元の声聞きながら、整備の方向性について検討を進めていきたい。</p>	

項 目	2. 堂崎港埋立地の企業立地に向けた協力等について
<p>(要望概要) 堂崎港埋立地への企業誘致と構内道路の整備について要望したもの。</p> <p>(回 答) 1. 企業誘致に対する連携強化について ○南島原市の豊富な農産物や食料品の製造業といった地域の強みを活かせる分野について誘致の可能性があるのか、市や産業振興財団と連携しながら検討していきたい。 2. 埋立地内道路の整備について ○市が行う上水道の整備と調整を図りながら、幹線道路を県で整備する予定である。</p>	

項 目	3. 原城跡世界遺産センター整備事業に係る支援等について
<p>(要望概要) 「原城跡世界遺産センター」の開業に向けた情報提供やPRについて、協力や助言を要望したもの。</p> <p>(回 答) ○ガイダンス施設については、各地域の構成資産への周遊にもつながるような展示になるよう、県としても積極的に協力をしていきたい。 ○物産に関する販売の運営、観光振興のためのプロモーションなどについては、県から助言や情報提供、開業前からのPRの実施を予定している。</p>	

項 目	4. 島原・天草・長島架橋構想の推進について
<p>(要望概要) 島原・天草・長島架橋構想について要望したもの。</p> <p>(回 答) ○島原・天草・長島架橋建設促進協議会等を通じて、国への要望活動を行うほか、構想推進地方大会の開催や三県少年サッカー大会などの地域間交流等の取組を通して本構想の機運醸成を図ってきた。また、県としては、三県合同で風や地震等の自然条件調査を継続して行ってきた。 ○今後も本構想の実現に向け、熊本、鹿児島両県と連携して、調査の再開や事業の具体化について、国に対し強く働きかけを行っていく。</p>	

項 目	5. 原城前バス停における安全の確保について
<p>(要望概要) 原城跡に隣接する島原市方向の原城前バス停において、利用する地域住民及び観光客と通行車両双方が、安全・安心して通行できるようバスベいの整備を要望したもの。</p> <p>(回 答) ○島原市方向の原城前バス停車体については、既に設計を完了しており、令和6年度は用地測量を実施し、用地交渉の着手を予定している。</p>	

項 目	6. 島原手延そうめんの産地振興について
<p>(要望概要) 島原手延そうめんの主原料である小麦粉の価格が高騰しており、製造に大きく影響していることから、安定したそうめん製造や産地振興について引き続き積極的な支援を要望したもの。</p> <p>(回 答) ○産地活性チャレンジ推進事業において、産地が市と連携して取り組む、付加価値の高い商品の開発や販路拡大につながる取組に対し、引き続き支援する。 ○また、「南島原市そうめん小麦研究会」が取り組む「手延べそうめんに適した地元産小麦の試験栽培や研究」に対しても、引き続き技術的指導等の支援を行っていく。</p>	

<p>項 目</p>	<p>7. 土石流被災家屋保存公園を含めた道の駅ひまわりの再整備について</p>
<p>(要望概要)</p> <p>深江町にある土石流被災家屋保存公園の再整備と島原半島の観光拠点でもある道の駅ひまわりへの積極的な支援を要望したもの。</p> <p>(回 答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○整備以来 20 年以上が経過し、被災家屋の経年劣化及び地盤沈下により被災当時の状況とは変容し、倒壊等が懸念されていたところである。 ○令和 2 年度に「土石流被災家屋保存公園の補修等整備のあり方検討委員会」で策定した「補修等整備のあり方の方向性（案）」のもと、屋外 8 棟のうち特に危険な状態である 2 棟の解体・撤去を行った。 ○残り 6 棟についても、崩壊の危険性が生じる等、継続的な管理が困難になった場合に解体撤去することとしている。 ○公園の整備について、指定管理者である南島原市や道の駅ひまわりの運営事業者と継続的に協議を進めながら、活用方法を検討していく。 ○道の駅ひまわりについては、現在の利用状況、今後の利用形態を踏まえ、支援のあり方について市と協議していきたい。 	

項

目

8. 医療・介護の継続的な充実について

(要望概要)

地域で暮らす住民の誰もが安心して安定的な医療サービスを受けられるように、救急医療の充実、介護事業に対する従事者の確保及び在宅医療の促進に向けて、実効性のある施策と財政的な支援を要望したものの。

(回答)

1. 救急医療の充実について

○救急安心センター事業(#7119)に係る支援措置について、県・市町の費用負担に対し、特別交付税措置が講じられることとなっている。

2. 介護事業に対する従事者の確保について

○介護従事者の確保については、若い世代への介護の仕事の魅力発信、外国人材の活用、介護現場の生産性向上を重点的に行っていく。

○テクノロジーの導入や活用に関する支援として、導入補助金の拡充、生産性向上を支援するワンストップ窓口の設置、デジタル活用の先進施設づくりなどの施策を推進する。

○令和6年6月から、処遇改善加算の加算率を引き上げる介護報酬改定が行われたため、専門家による加算の取得支援等により、賃金の向上を図っていく。

○処遇改善加算制度のさらなる拡充について、令和7年度政府施策要望を実施しており、今後も引き続き要望していきたい。

3. 在宅医療の促進について

○在宅医療促進にかかる施策については、今年度、県において地域ごとに異なる需給見込みや、課題等について分析のうえ、市町ごとに意見交換会を開催することとしており、在宅医療体制構築の主体となる市町の施策立案、実現に向け、共に検討を行うなど専門的な観点から支援を行っていく。

項 目	9. 海藻養殖（ヒジキ）の生産支援について
<p>（要望概要） 海藻養殖業の生産量の安定のため、ヒジキの種苗生産への技術支援を要望したもの。</p> <p>（回 答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度から、関係機関と連携し、ヒジキの人工種苗生産技術開発に取組み、昨年度は4,600本の人工種苗の生産に成功するとともに、生産した種苗は養殖試験で順調に生長することを確認した。 ○地元が種苗生産技術を活用できるように、今年度も、引き続き、技術開発と普及指導を行っていく。 ○また、養殖業者グループが「マーケット・イン養殖産地育成計画」に基づき、需要に応じた計画的な生産等に必要な養殖施設の整備等を行う場合には、支援を行っていく。 	

項 目	10. 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）の予算確保について
<p>（要望概要） 農地の有効利用による生産性の向上を図るため実施していただいている県営畑地帯総合整備事業の早期完成と、今後予定している有家中部地区の事業推進を要望したもの。</p> <p>（回 答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○当初予算と補正予算を合わせた今年度の実質予算は、要望どおりの予算を確保できたが、県としても基盤整備をはじめとする農業農村整備事業を計画的に推進していくためには、当初予算での確保が重要であると認識しており、引き続き、あらゆる機会を捉えて、当初予算での重点配分について、国へ強く働きかけを行っていく。 ○事業実施に向けては、南島原市や関係団体と一体となって取り組んでいきたい。 	

項 目	11. 自転車歩行者専用道路の整備及び利活用の促進について
<p>(要望概要) 自転車歩行者専用道路の利活用による地域活性化を図るための支援と協力を要望したもの。</p> <p>(回 答) ○自転車歩行者専用道路の整備については、令和 7 年度の完成に必要な予算の確保に向けて、市とともに国に要求していく。 ○島原半島におけるサイクリストの受入環境整備については、県の補助制度も活用していただき、島原半島観光連盟が事業主体として取り組んでおられる。県としてもこの取り組みに、引き続き、必要な助言や情報提供等を行いながら協力していきたい。</p>	

項 目	12. 一般国道251号の安全・安心対策について
<p>(要望概要) 地域住民の安全性向上のため、早急な道路災害防除事業（加津佐町権田から雲仙市南串山町赤間間）及び交通安全施設等整備事業（布津町新田橋から深江町県道雲仙深江線交差点区間、深江町大木交差点から道の駅ひまわり区間）の整備促進と事業着手を要望したもの。</p> <p>(回 答) ○布津町新田橋から深江町県道雲仙深江線交差点区間については、平成 25 年度からこれまでに 749mの歩道が完成しており、引き続き、用地取得と工事の早期完成に努める。 ○深江町大木交差点から道の駅ひまわりの区間については、事業化に向けて検討していく。 ○加津佐町権田から雲仙市南串山町赤間間については、昭和 58 年度からロックシェッドを含む法面对策を実施している。平成 20 年度の道路防災点検で、改めて対策が必要な 21 箇所を抽出し、法面对策を実施していく。</p>	

項 目	13. 構想路線「島原半島西回り道路」の調査検討について
<p>(要望概要) 島原半島西回り道路の調査検討を要望したもの。</p> <p>(回 答) ○島原半島地域の幹線道路網に関する検討会を、今年度も開催し、地域の意見を聞きながら、整備の方向性について検討を進めていく。</p>	

項 目	14. 一般国道389号の整備促進について
<p>(要望概要) 一般国道389号における北有馬町論所原地区の整備促進を要望したもの。</p> <p>(回 答) ○要望されている論所原側の約 2.8 km区間は、論所原拡幅として令和 5 年度から事業に着手しており、今年度は引き続き改良工事を推進していく。 ○今後も引き続き、予算確保と整備促進に努める。</p>	

項 目	15. 主要地方道小浜北有馬線（北有馬町坂下地区）の新規事業化について
<p>(要望概要) 主要地方道小浜北有馬線（北有馬町坂下地区）の新規事業化を要望したもの。</p> <p>(回 答) ○要望区間については、一部見通しの悪いカーブがあるものの 2 車線での改良が完成している。このため、現在、事業中である大亀矢代工区の進捗をみながら、他の要望箇所を含め、整備の必要性や優先度について市と意見交換を行っていきたい。</p>	

項 目	16. 二級河川の整備について
<p>(要望概要) 二級河川内の堆積土砂の浚渫・川竹等の除去を要望したもの。また、治水事業全般に対する継続的な財政措置を国へ要望するよう県へ要望したもの。</p> <p>(回 答) ○二級河川内の堆積土砂の浚渫・川竹等の除去については、「緊急浚渫推進事業」を積極的に活用し、治水安全度の低下した箇所から優先的に実施しており、引き続き河川の適正な維持管理に努めていく。 ○「緊急浚渫推進事業」と「緊急自然災害防止対策事業」の地方債制度の継続を国へ強く要望していく。</p>	

項 目	17. 学校施設環境改善交付金について
<p>(要望概要) 学校施設環境改善交付金の十分な予算措置について、国へ要望するよう県へ要望するもの。</p> <p>(回 答) ○学校施設については、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、災害時には、地域の避難場所となることから、その安全性の確保は、国土強靱化の観点からも重要である。 ○設置者が必要とする施設整備を計画的に進めるためには、国による十分な財政支援と予算措置が必要であることから、学校施設環境改善交付金の当初予算での十分な財源の確保について、政府施策要望を実施したところであり、今後も関係団体を通じて要望していきたいと考えている。</p>	